

<h1>そだて</h1> <p>第292号</p>	小千谷市 青少年育成センター	〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojya.niigata.jp URL http://www.city.ojya.niigata.jp/
---------------------------	-------------------	--

ひとの痛みについて

青少年育成センター所長 菅原 誠廣

日本の放送作家、作詞家でボランティアの仕事にも携わっている、永 六輔さんという方がいました。

永さんが著書の中で、「ギックリ腰」になった方から手紙をもらい、エッセイを書いています。

くギックリ腰になりました。ちょっと前かがみの姿勢になったときに、あつというまに動けなくなって、もしやと思ったら、どうもギックリ腰らしい。ふだん元気なとき、すべての動作が難なくできるので、あちこちの筋肉や神経が互いに支え合っているなんて、ちっとも知らないできました。

いままで知らなかったまわりのギックリ腰の方たちの痛みを、やっとわかることができましたが、人の痛みがわかるということはむずかしいのかもしれない。ひょっとして、これが治ってしまうと、また、ギックリ腰の痛みをわかるということができるかどうか>

この人のお便りの中でもっとも大事な点は、「人の痛みがわかるということはむずかしい」というところです。いまなら、ギックリ腰の人の痛みがわかるけれども、これが治ったあとも、そのまま痛みがわかっているだろうか心配されています。

でも、そういうやさしいお気持ちがあれば、けっして忘れないでしょう。

痛みは、身体の痛みだけではなく、心の痛みというものもあって、他人の心の痛みはもっとわかりにくい。話を聞き、相づちを打って、「それは大変ですね」とか言っても、ほんとうの痛みは伝わっていないし、伝わりようもないのです。

ただ、身体も心も含め、誰もが痛みを味わうときがあるはずで、そのときの自分の痛みを忘れないようにしておき、こういう痛みで嘆いているのは自分だけではないんだと考えるだけでも、世の中が少しはよくなるのではないのでしょうか。

「『無償(ただ)』の仕事」永 六輔著 他人の痛み より

自分のこととして痛みを考え、この痛みを感じているひとが他にいても知れないと思いながら生活することが大切だと感じています。私たちは青少年のみなさんに、少しでも痛みを忘れないでいようとしている大人だと思ってもらえる存在でありたいものです。

令和5年度の青少年健全育成活動を、多くの委員の皆様から貴重な時間を差し繰って参加いただき、街頭声かけ活動を中心に行っていただきました。挨拶等の声かけ数は900名を超え、委員の皆様の充実した活動が覗えます。参加後の感想では、問題等はほとんどなく小千谷市内がとても落ち着いた環境になっていることの表れだと考えております。参加いただいた委員の皆様には感謝申し上げます。今後もお力添えをいただきますようお願いいたします。



5年度の活動報告

□街頭声かけ活動

令和5年度の声かけ活動として、補導委員の方々に巡回していただいた回数は45回、延べ124人になりました。声かけ活動では、921人のお子さんから大人まで大勢の皆さんに声をかけていただきました。また、おぢやまつりでの合同パトロールでは、3名の委員の方から参加していただきました。毎回の委員の皆さんの見守り・声かけ活動は、小千谷の子ども達の健全育成に大きく貢献されていると感じています。ありがとうございました。

活動後半の皆さんの感想です（抜粋）



- ・自転車のヘルメット着用者が少ないと感じた。
- ・高校生で自転車にイヤホンを両耳につけて走っている様子も見られ危険だと感じ、注意していきたいと思いました。
- ・小千谷駅で高校生に話し掛けました。多くの子が“駆け込み乗車”で話し掛けられませんでした。
- ・「気を付けて帰ってください」の声掛けに対して、「ありがとうございます」と返してくれる子どもも多くこちらも嬉しくなりました。
- ・西高では、自転車の未施錠や盗難にあう生徒が多く、自転車小屋のチェックも行いました。学校近くのローソンでは10人ほどの生徒がいましたが、あまり良いイメージをいだかない状態だったので注意しました。

□環境浄化活動

7月5日、育成センターと文化スポーツ課合同で、市内の商業施設やJR小千谷駅周辺を巡回しました。目立った問題点はありませんでした。どこにでも危険は隠れています。皆さんの見守りや気づきも早期発見につながります。気になる点がありましたら、いつでもセンターまでお知らせください。

□合同パトロール

おぢやまつりに合わせ、小千谷警察署・少年警察ボランティア連絡協議会・青少年補導委員の3団体で合同パトロールを実施しました。青少年補導委員の参加は少なかったですが、有意義な活動となりました。

□広報活動

機関紙「そだて」を3回発行しました。小千谷市のホームページにも公開されています。お知り合いの方々にご紹介していただき、是非ご覧いただきたいと思います。

□相談活動

今年度1月末までの相談件数は、延べ25件（面接9件、電話16件）ありました。今年度の特徴としては、保護者（祖父母を含む）からの相談や相談機関を通しての相談が多くありました。また、傾向として高校生の相談が多くなりました。育成センターチラシ配布の他に、中学3年生には名刺サイズの相談カードを配布しました。新しい高校生活での不安や心配などを気軽に相談してもらえるとうり難しいです。

◆保護者の皆さんからの相談も受け付けています。お子さんへの悩みや不安をお持ちの方がいらっしやいましたら「青少年育成センター」の相談窓口をご紹介いただくとありがたいです。

青少年育成センター相談電話 0258-82-6771

この一年間、青少年育成センターへのご理解とご協力、ありがとうございました。